

平成29年度
自己点検・評価報告書



平成30年7月

学校法人つくば総合学院
つくばビジネスカレッジ専門学校

1. 教育理念・目標		点検 評価結果
1	学校の理念・目的・育成人材像は定められているか(専門分野の特性が明確になっているか)。	4
2	理念等の達成向け特色ある教育活動に取り組んでいるか。	4
3	社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか。	4
4	学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか。	4
5	各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか。	4
取組状況 (課題含む)	学校の理念、目標、育成人材像等は、パンフレット、ホームページ、学生の手引き等で記載することで明文化を図り、新入生には入学時オリエンテーションにおいて、学生の手引きを使用し説明を行っている。新任教員については、年度開始前の研修会において、学校に関する共通理解を図っている。	
改善策など	入学前の保護者向け進学説明会において、学校の教育理念、校訓、アドミッションポリシー等を丁寧に説明していく。年2回開催される講師間懇談会において、業界情報交換を図り、教育目標に反映できるよう講師間の連携を図っている。	
学校関係者委員会 での意見	おおむね整っている。	

2. 学校運営		点検 評価結果
1	理念・目的等に沿った運営方針が策定されているか。	4
2	運営方針に沿った事業計画が策定されているか。	3
3	運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか。	3
4	人事、給与に関する規程等は整備されているか。	3
5	教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか。	3
6	業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか。	3
7	教育活動等に関する情報公開が適切になされているか。	4
8	情報システム化等による業務の効率化が図られているか。	4
取組状況 (課題含む)	年間2回、4月・9月に【つくば総合学院】の教職員会議を実施して、経営責任者から全体方針が示され、全員に周知している。また4月に各校運営責任者から該年度の目標が発表され、9月には中間報告を行い、目標の進捗状況の確認、見直しを行っている。顧問社労士の指導により、就業規則等の規程の整備を行っている。情報公開は、ホームページのトップページ上から確認できる。情報システムは、学籍管理システムを活用し、サーバー、メール管理は外部に委託し、問題なく運用できている。	
改善策など	常勤教員が不足しているのので、ハローワーク、人材紹介会社と連携して人材を確保し、組織運営を安定したものにしなければならない。有料Web活用も視野に入れ人材を確保する。また事務局員についても、同様である。	
学校関係者委員会 での意見	今年度もIT系人材が不足しているのので、早急に人材確保が必要である。常勤教員の人材不足は、大きな課題であり早急に対応すべきである。	

3. 教育活動		点検 評価結果
1	教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか。	4
2	教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか。	4
3	学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか。	4
4	キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか。	3
5	関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか。	4
6	関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか。	4
7	授業評価の実施・評価体制はあるか。	4
8	職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか。	3
9	成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか。	4
10	資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか。	4
11	人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか。	2
12	関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務含む)を確保するなどマネジメントが行われているか。	2
13	関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか。	3
14	職員の能力開発のための研修等が行われているか。	3
取組状況 (課題含む)	年間2回開催の講師間懇談会、教育課程編成委員会においては、各講師、企業の方々にご協力頂き、カリキュラムや検定試験の見直しを図っている。時間講師の中には、店舗経営者、漫画家、イラストレーター、看護師有資格者などがおり、より実践的なアドバイスを頂けている。年度末には、学生全員による授業評価と保護者からのアンケートを実施して、各課題についての改善に取り組んでいる。教職員研修については、年間スケジュールで調整しながら参加している。成績評価は、学生の手引きで明文化し、評価を実施し、全体の成績認定会議にて、全学生の進級・卒業を判定している。	
改善策など	現在、インターンシップは、2学科に限られる。業界の機密保持などの理由で、対応が難しい分野もあるが、企業からの情報交換を続け、導入を模索していく。教職員研修について、各業界団体から情報収集して、分野の偏りがないように全員が参加できるようにしていく。	
学校関係者委員会 での意見	IT系を始め一般企業においても求人が不足しているようなので、積極的に企業と交渉し、インターンシップ導入実現に向けて学校全体で取り組んでほしい。教職員研修については、年度初めに各自に受講希望の研修を提示させ、計画的に受講し能力向上に努めてほしい。	

4. 学修成果		点検 評価結果
1	就職率の向上が図られているか	4
2	資格取得率の向上が図られているか	4
3	退学率の低減が図られているか	4
4	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3
5	卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか。	3
取組状況 (課題含む)	就職率は、約96%の実績で前年を上回っている。1年次11月から2月まで研修会を複数回実施して就職活動の意識を高めている。また就職年次生全員に対して、模擬面接指導を実施している。資格取得や技術習得については、目標設定を行い、資格試験前の対策授業を実施している。また優秀な成績を修めた学生については、学習奨励金支給や卒業時表彰を行っている。退学率は、学籍管理ソフトを活用し、都度、出席状況を確認し、休みがちな学生については、保護者連絡、面談、留年警告書送付など段階的に対応している。卒業生の状況については、なかなか把握できていない。	
改善策	就職課が各企業・医療機関等の連携が取れるように定期的に訪問し、卒業生の情報収集に努める。	
学校関係者委員会 での意見	卒業生の在職状況について、就職先企業にアンケート調査を実施して、求める人材像と現状に差異がないかデータを収集することが必要ではないか。	

5. 学生支援		点検 評価結果
1	進路・就職に関する支援体制は整備されているか。	4
2	学生相談に関する体制は整備されているか。	4
3	学生に対する経済的な支援体制は整備されているか。	4
4	学生の健康管理を担う組織体制はあるか。	3
5	課外活動に対する支援体制は整備されているか。	3
6	学生の生活環境への支援は行われているか。	3
7	保護者と適切に連携しているか。	3
8	卒業生への支援体制はあるか。	3
9	社会のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか。	3
10	高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか。	3
取組状況 (課題含む)	担任と就職課により就職支援している。学生相談は、主としてクラス担任が担当している。経済的支援として、学費免除試験制度・高資格奨励制度などを整備している。健康診断は年1回実施している。高等学校とは、校長や広報課の訪問により情報交換を行い、また出張授業、模擬面接指導、バス見学会受入れなどで連携を図っている。	
改善策など	学校を卒業すると疎遠になる傾向にあるが、各担任が個別に連絡を取っている。同窓会組織の設立が必要と思われるが、引き続き、情報収集に努めていく。	
学校関係者委員会 での意見	日本学生支援機構の奨学金を借りる学生が増加しているが、返還の義務があることを周知していかないと、返還不能や自己破産になるケースが度々ニュースで聞かれるので、指導をお願いしたい。	

6. 教育環境		点検 評価結果
1	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか。	3
2	学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか。	4
3	防災に対する体制は整備されているか。	3
取組状況	空調機は平成29年度までに全台入替済みである。経費削減のため、一部を残しLED照明に切り替えた。また保護者アンケートより女子トイレを洋式化した。毎年、海外研修旅行にて異文化学習を取り入れている。	
改善策など	施設設備において、電気設備の老朽化問題があり、費用もかさむことから計画的に実施していくことが必要である。またIT関連機器も同様である。	
学校関係者委員会 での意見	施設・設備の入れ替えについては、高額な費用が発生することが予想させるので、計画的に予算に組み入れて、段階的に実施してもらいたい。	

7. 学生の受入れ募集		点検 評価結果
1	学生募集活動は、適正に行われているか。	4
2	学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか。	4
3	学納金は妥当なものとなっているか。	4
取組状況 (課題含む)	学生募集は、パンフレット、ホームページ、オープンキャンパスなどにより、本校の特色や教育成果を的確に伝えている。学納金は、学則通りの適正な金額を明示し、また保護者向け進路説明会においても、金額・納入時期などを適切に説明をしている。	
改善策	検定実績・就職実績などの数値は、適切に情報発信し、入学希望者が安心して進路選択ができるような募集活動を継続していく。	
学校関係者委員会 での意見	おおむね整っている。	

8. 財務		点検 評価結果
1	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか。	4
2	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか。	4
3	財務について会計監査が適正に行われているか。	4
4	財務情報公開の体制整備はできているか。	4
取組状況 (課題含む)	顧問税理士の指導の下、ホームページにて財務関係の情報公開を行っている。	
改善策など	収入は、学生生徒納付金が主なものであり、引き続き入学生を確保していく。	
学校関係者委員会 での意見	おおむね整っている。	

9. 法令等の遵守		点検 評価結果
1	法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか。	4
2	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか。	4
3	自己評価の実施と問題点の改善を行っているか。	4
4	自己評価結果を公開しているか。	4
取組状況 (課題含む)	専修学校設置基準をはじめとする関係法令に基づき、学校運営はされている。また各種届出・報告書類等は、茨城県総務部総務課私学振興室の指導の下、適切に処理されている。自己点検評価については、ホームページ上で公開している。	
改善策など	情報公開により教職員の意識も高まってきている。各研修を通して改善意識を更に高めていきたい。	
学校関係者委員会 での意見	おおむね整っている。	

10. 社会貢献・地域貢献		点検 評価結果
1	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか。	4
2	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか。	3
3	地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか。	3
取組状況 (課題含む)	各団体からの要請により検定試験会場や高等学校等の連携により、施設の貸し出しを行っている。また茨城県やつくば市、他自治体からのイベントに協力している。さら地域の子供たち向けのイベントを企画し実施している。	
改善策など	引き続き自治体、企業、高校、地域と連携して社会貢献を図っている。	
学校関係者委員会 での意見	おおむね整っている。	